				令和	7 年度		委 託	設 仕	計 様	書
1	委		託	名	本丸御殿庭除草	等業務委託				
2	委	託	笛	所	川越市郭町2丁目	目13番地1				
3	実		施	額	¥	円	(但し、委託価格	¥		円)
4	委 託	大 要	、起工	理由						
委託	の 大	、要	·人力除草 ·機械除草 ·除草剤带 ·芝地管理 ·中·低木	草(植込地、 草(土間地) 故布(一般均 里(機械刈込 刈込(寄植	也、芝生地) 込、目土掛け、施肥)	地)				
起 エ	理	由	本丸御殿	庭の除草及	及び剪定等を行い、美観を	損なわないよう管理	ますることを目的とする。			

本 委 託 費 内 訳 表

					'T'		μυ	只 r .		1				-
費	目	エを種	種別	細	別	数	量	単位	単	価	金	額	摘	要
→ *	=1 井													
本 安	託 費													
		直接委託費計												
			共通仮設費				1	式						
							ı	八						
		純 委 託 費												
			現場管理費											
							1	式						
		委 託 原 価	;											
			一般管理費等											
			拟旨垤貝寸				1	式						
		未 红 体 妆												
		委託 価格												
			᠉ᆥᅺᆔᄽᅘ											
			消費税相当額				1	式						
							<u>'</u>							
本 委	託 費 計													
							l i l	土代	+					

川 越 市

工種	種目		細目	単位	単価	設計数量	設計金額	備考	
園地	人力除草 I			植込地	m		660		165㎡ × 4回
除	人力	除草	直耳	土系舗装地			604		151 m² × 4回
草	人力	除草	直皿				328		82 m² × 4 回
	水中除草								
	機柄	以除達	įΙ	肩掛式			1,014		1,014m² × 1回
	機柄	以除達	直耳	ハントがイト 肩掛併用					
	機柄	以除達	直皿	ハントカイト 肩掛併用					
	刈放			肩掛式					
	刈放		I	ハントカイト 肩掛併用					
	機械 刈放			ハント゚カ゚イト゚					
		剤間		一般地			3,042		1,014㎡ × 3回
樹木	中低	寄植	機械	H<1.5	m		330		165㎡ × 2回
管	木			1. 5≦H<2. 5					
理(刈込	生垣	機械	0. 75≦H<1. 5	m				
中低		ļ		1. 5≦H<2. 5			127		127m×1回
木		仕立	釣鐘	H=1.0内外	本				
刈込		物	型	H=2. 0内外					
ほ				H=3. 0内外					
か				H=4. 0内外					
		玉物	人力	0. 45≦H<0. 75	株				
<u> </u>				0. 75≦H<1. 2					
芝地	機柄				m		152		38㎡ × 4回
管	機柄	划	<u>አ</u> み	(刈放し)					
理	除草	剤間	女布				38		38㎡ × 1回
		人)					38		38㎡ × 1回
		9(機							
		掛(t				38		38㎡ × 1回
447	芝補				2				
樹林			IJ	m					
地管		刈り	J						
理	清掃								
L	落葉掃き				2				
花壇	地挤				m				
管理				(花壇苗)					
生	巡回	管理	≝		回				

工程	種目	細目	単位	単価	設計数量	設計金額	備考
樹木		C<30	本				
管	(落葉)	30≦C<60					
理		60≦C<90					
高士		90≦C<120					
木剪		120≦C<150					
定		150≦C<180					
		180≦C					
	基本剪定	C<30	本				
	(常緑)	30≦C<60	l				
		60≦C<90	l				
		90≦C<120					
		120≦C<150					
		150≦C<180					
		180≦C					
	軽剪定	C<15	本				
	(落葉)	15≦C<30	l		3		3本×1回
		30≦C<60			19		19本×1回
		60≦C<90			3		3本×1回
		90≦C<120					
		120≦C<150			1		1本×1回
		150≦C	_				
	軽剪定	15≦C<30	本		2		2本×1回
	(常緑)	30≦C<60			19		19本×1回
		60≦C<90					
		90≦C<120					
		120≦C<150					
		150≦C	_				
	軽剪定	30≦C<60	本		3		3本×1回
	(針葉)	60≦C<90			1		1本×1回
		90≦C<120			1		1本×1回
		120≦C<150			1		1本×1回
		150≦C			1		1本×1回
	軽剪定	15≦C<30	本		2		2本×1回
	(マツ類)	30≦C<60			5		5本×1回
		90≦C<120			1		1本×1回

工種	種目	細目	単位	単価	設計数量	設計金額	備考
樹木	支障木処理	C<20	本				
管	枯損木処理	20≦C<30					
理		30≦C<60					
		60≦C<90					
		90≦C					
病害	害虫焼払い	C<60	本				
虫		60≦C					
防除	松枯れ防止剤						
	松こも巻き	C<15					
		15≦C<30					
		30≦C<60					
		60≦C<100					
		100≦C					
	樹木薬剤散		トル		200		200以 × 1回
	樹木薬剤散	布Ⅱ	m				
側溝	側溝清掃(蓋なし)						
清	側溝清掃(コン	クリート蓋)					
掃ほ	側溝清掃(鋼蓋)						
か	スクリーン・排水口清掃						
	集水桝清掃(無蓋、人力)						
	集水桝清掃(有蓋、人力)						
	水路清掃(鋼蓋)						
	L型側溝清掃	ř					
塩化	カルシウム散	(布(人力)	mî				
	カルシウム散	(布(機械)					
浦	施肥(元肥)		mî				
田管	施肥(追肥)		1.4				
理	株分け		株				
樹オ	樹木施肥						

本丸御殿庭除草等業務委託仕様書

1 目的

本業務委託は、本丸御殿庭の除草及び剪定等を行い、美観を損なわないよう管理することを目的とする。

2 委託場所

- (1) 名称 川越城本丸御殿
- (2) 場所 川越市郭町2丁目13番地1
- 3 委託期間

契約締結日から令和8年3月20日まで

4 支払方法

2回払い

1回目:令和7年10月(契約締結日~令和7年9月実施分) 2回目:令和8年4月(令和7年10月~令和8年3月実施分)

5 作業内容

- (1) 除草
- (2) 芝の手入れ・芝刈・施肥・目土等
- (3) 植木の手入れ・剪定・消毒等
- (4) その他、別紙「委託内訳書」の作業基準により行う。

6 責任者の指定

受注者は、業務着手前に作業及び本市職員との業務連絡の中心となる作業責任者を指定し、市に報告しなければならない。

7. 服装

業務に従事する者は、安全かつ効率的に作業が行えるような衣服を着用すること。

- 8 業務に要する機械器具、材料、用具等は受注者の負担とする。
- 9 受注者は、業務着手前に以下の書類を提出しなければならない。
 - (1) 委託業務実施計画書

(2) その他市指定のもの

10 報告書の提出

受注者は、各業務の結果について記録するとともに、所定の報告書を提出すること。

11 受注者(作業者)の資格

1級又は2級造園施工管理技士と、1級又は2級造園技能士の両方の資格を有する者を 業務に配置することができるもの。

12 その他の事項

- (1) 受注者は、業務を遂行するに当たり、本市職員と十分に協議し、その指示にしたがうこと。
- (2) 受注者は、作業を行う日時について、あらかじめ本市職員に連絡し、その了承を得ること。
- (3) 受注者は、業務中に構造物、植木・芝等に損害が発生した場合は、本市職員と協議し、適切な処置を行うこと。
- (4) この仕様書は、委託業務の大要を示すものであるから、受注者は現場の状況 に応じ、ここに記載されていない細部の事項についても誠意をもって行うこ と。
- (5) 本業務の一部を第三者に再委託する場合は、再委託する業務内容、再委託先の名称、再委託が必要な理由を明記の上、事前に書面にて提出し、川越市の承諾を得る必要がある。

13 注意事項

受注者は、業務を実行するにあたって、業務に支障のないように適切に次のことに注意すること。

- (1) 芝刈込み・雑草刈払い
 - ア 徒長した茎葉を近辺の樹木、草花、構造物に損傷を与えないように注意し、一 定の高さに刈込む。尚、刈込み高さは、受注者の指示に従うこと。
 - イ 原則としてローンモア等による機械刈りとするが、その際には、ローンモア等 の排出口を建物や人の方向に向けないように、安全に注意する。
 - ウ 樹木の根際、さく等、構造物周り等で機械刈りの適当でない所又は不能な所は、 手刈りとする。
 - エ 芝が構造物等に接する境界部分は、縁切りを行う。他の地被・低木等に接する 部分については、芝のほふく茎又は地下茎を侵害しないようその部分で縁切り を行う。せん除した茎葉は速やかに処分する。

(2) 除草

人力除草では、雑草の根を残さないよう根ごと取り除く。低木・花壇内等の除草 については、低木・草花に損傷を与えぬように注意する。

(3) 施肥

所定量の肥料をむらのないように散布する。固形肥料を施す場合は、降雨直後等で葉面のぬれている時は行わない。